

東北産業 未来を拓く

確かな成長 次の一手



宮城県が8月に実施した県内高等学校教員を対象とした「半導体研修会」(東北大学マイクロシステム融合研究開発センター)



9日に福島県南相馬市内で「Fukushima SPACEカンファレンス」が開かれた



宮城県が8月に実施した県内高等学校教員を対象とした「半導体研修会」(東北大学マイクロシステム融合研究開発センター)

東北経済のイノベーション創出に向けて、東北各地で新たな取り組みが加速している。

◇ 人口減少問題

人口減少問題を共有し、4

月、東北経済連合会(増子次郎会長)、東北電力会長は、青森市のホテル青森で、「わきたつ東北戦略会議」を開き、東北6県・新潟県における人口減少問題に関して意見交換した。東北6県・新潟の産学金のトップが一堂に集まり、課題・危機意識を共有した。2024年度は「人口減少問題」をテーマに意見交換

を重ねる方向だ。全国でも人口減少率が最も高い地域であることを背景に、産学官金それぞれの施策の方向性などを確認し、課題解決に向けた地域の取り組みを促す。

◇ 次世代放射光施設

産業イノベーションを引き起こす。巨大な顕微鏡と称される次世代放射光施設「ナノテラス」(仙台市青葉区)が本格稼働してから4カ月が経過した。4月にビームライ

ンの利用が可能な「アリショング(有志連合)・メンバーによる実験が先行。国側によ

り、課題・危機意識を共有し、問題」をテーマに意見交換

を重ねる方向だ。全国でも人

口減少率が最も高い地域であることを背景に、産学官金を

それぞれの施策の方向性などを

確認し、課題解決に向けた地

域の取り組みを促す。

◇ 教員に半導体研修会

半導体産業の魅力を伝える

。今月、宮城県は、県内高

等学校教員を対象とした「半

導体研修会」を開いた。教員

19人の教員が参加した。生徒

の進路指導などで半導体産業

への理解を深めるとともに教

育内容の充実化につなげる狙

い会場となつたのが微小電

気機システム(MEMS)

など各種センサーのモノづくり

が可能な東北大マイクロ

システム融合研究開発センタ

。今後も県は教員を対象

として体験型の研修会を継続

していく方針だ。

◇ 宇宙産業拠点を目指す

とした体験型の研修会を継続

していく方針だ。

月9日、福島県南相馬市内で

宇宙産業を福島から。今

た。月9日、福島県南相馬市内で

宇宙産業を福島から。今

新たなモノづくりへの挑戦

スズキハイテック

山形市



中同協定時総会の分科会で外国人材活用による伝統企業の改革を紹介した

ダイバーシティー経営

外国人材活用 100年企業の革命続く

山形からメツキでレボリューション。最先端の部材から身近な製品まで各分野に使われるメツキ。伝統産業でもあるメツキ会社の革命に乗り出しているのがスズキハイテック(山形市、鈴木一徳社長)。2024年で創業110年を迎えた同社は、革新的の中にある。中小企業同友会全国協議会中同協。

東京都千代田区・広浜泰久会長が7月に、仙台市青葉区の仙台国際センターで開いた「第56回定期総会」に出席。同社は、15年に社長のバトンを受け継いだ鈴木社長。受託型から開発型への事業構造の転換が進む。同年に山形大学大学院工学研究科の留学生などを採用。現在では多くの外人材が集う会社になつていい。異なる人材が集まることで、メツキ業の革命が続いている。

中小企業基盤整備機構 東北本部

中小企業応援士に女性経営者4人



中小企業応援士を委嘱された

(仙台市青葉区、矢内友則本部長)は、2024年度の東北管内における「中小企業応援士」を計4人の経営層に委嘱した。同応援士は、中小機構の支援メニューなどを地域中小企業に伝える役割を担う。この取り組みは19年度に設立された。多様性を取り入れたダイバーシティー経営の実践での分科会。鈴木社長は外国人材活用による伝統企業の改革を紹介した。

地域中小企業に支援メニュー伝える

けた。東北を含めた全国では計41人への委嘱が決まった。東北での中小企業応援士の委嘱状は、中小機構東北本部から直接手渡された。24年度に委嘱されたMIM事業は、社員約40人を中心に対応しており、今後は増員が視野に入る。

福島製作所

福島市



福島製作所製のランナ模型(中央)

福島製作所(福島市、太田光一社長)は電力機器事業に力を注いでいる。長年にわたり同事業に携わってきたが、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)開始により水力や風力といった再生可能エネルギー市場が急拡大。地球温暖化防止の観点からカーボンニュートラル(CN)の実現に向けた国の施策という追い風もあ

った。そこで同社は8年前から電力事業の「二入れ」を図っている。大型機械メーカーならではの技術力を生かし、発電用水車の本体機器や各種人口弁の製造、設置工事を行っている。圧油装置、冷却クーラーといった水力発電に不可欠な付帯設備も数多く手がける。それらができるのも、清掃場向

けグラバケットや舶用機械など、あらゆる産業機械を作つてき

た技術力と、その技術を受け継ぐ

人材力のたまものだ。清掃場向

けグラバケットや舶用機械など、あらゆる産業機械を作つてき

た技術力と、その技術を受け継ぐ

人材力のたまものだ。清掃

